

令和5年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立光明の郷ケアセンター（老人デイサービスセンター）
指定管理者	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設概要	指定通所介護 共生型生活介護（定員28名） 通所型サービスA（定員3名）
市支出額	なし

2. 事業の実施状況

サービス利用状況	延べ利用者数 7,200人 (前年比+454人) 1日平均利用者数 23.7人 (前年比+2.0人) 事故件数 4件 重大事故 0件
共生型サービスの実施	相談支援専門員を通じて、必要に応じて共生型サービスの実施を行っています。
支え合う暮らしの実現	日常生活上のお世話に加え、昨今のニーズに合わせて、できるだけ在宅生活が継続できるよう個別機能訓練を実施しています。ご利用者一人一人の思いや、日常生活に合わせて機能訓練計画を作成しています。 また、お弁当サービス(夕食)を行い、デイサービス帰宅後も栄養の摂れる食事の提供を行っています。
介護予防と健康長寿の積極的な推進	科学的介護推進体制加算を算定し、ご利用者のADLを再確認し全職員で共有しています。ご利用中の様子などで気になることがあればご家族・ケアマネジャーに報告し、チームでケアできるように努めています。
質の高いサービス提供を実現するための取り組み	歩行時の介助方法や入浴時のケアについては、毎月のミーティングだけでなく必要に応じて適宜見直しを行っています。個別機能訓練では日常生活の問題改善やご利用者の希望を中心にプログラムを組み提供しています。また、歩行評価アプリを導入し、動画を使用する等、運動することに興味を持っていただける支援を実施しています。集団体操(レクリエーション)は認知症ケアと運動を融合させ、楽しむ・動く・考えるをテーマに、より効果のあるものを取り入れています。

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	より良いサービス提供ができるよう、事業所の質の向上に努めていきます。ご利用者ご家族に満足頂けるよう、できる範囲でのご要望にお答えしていきたいと考えています。
------------	--

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	
------------	--

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	新型コロナウイルスによる感染拡大の予防対策をしながら、ご利用者に楽しんでいただけるよう、レクリエーションやイベントの企画をしていきます。ニーズの多い機能訓練についてもアプリの導入や個別プログラムの提供等、サービス向上に取り組んでいます。
-----------	--

4. 収支状況（事業活動明細書より）

【収入】	67,697,308円
【支出】	67,380,030円
【収支差】	317,278円

5. 特別提案の状況

ヤングケアラーへの食支援（お弁当配達）	ヤングケアラーへの食支援として夕食のお弁当を配達しています。現在は3家庭（週3回、16食）が利用され、白鳥荘の厨房で栄養バランスに留意した手作りのお弁当を提供しています。配達員は積極的に声を掛け、変化がないか等、見守りの強化にも努めています。
こども広場の開催	ヤングケアラーの早期発見や居場所支援を目的に毎月1回開催しています。近隣の小学校の児童を対象とし、10～15人が参加しています。体験型のイベントとしており、最近では飯盒炊飯やクレープ作りを楽しんでいただきました。
多世代交流行事の実施 小中学校への福祉体験の実施	近隣小・中学校へ福祉体験授業として車椅子や送迎車の体験会を実施しています。多様な車種に乗車・操作・介助を行ってもらい、車の役割や乗り心地、不整地での大変さ等を体験していただきました。併せてどのような方が使用しているのか、どのような場面で必要なのか等を説明し、ご理解いただけるように努めました。

6. 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルスの感染症対応をしながら、その中で可能なことを考え、ご利用者に楽しんでいただけるよう努めています。職員考案のイベントを毎月行ったり、ボランティアさんによるイベントを行いました。現在のご利用者のADLを維持・向上できるよう個別機能訓練や集団体操を行いました。今後はICT導入を検討し、さらなるサービスの質の向上に取り組みたいと考えています。